

岡崎市南部学校給食センター整備基本計画(案)に対する意見と市の考え方

No.	意見	市の考え方
1	<p>学校給食のご飯について。 無農薬ですか。無農薬のものに変えて欲しいです。 また、玄米ご飯なども出してほしいなと思います。 栄養のある部分がない白米を毎日のように食べる事に抵抗があります。</p>	<p>ごはんは無農薬ではありませんが、農薬の使用基準を守った岡崎市産及び一部愛知県産のお米を使用しています。 提供しているごはんの多くが白飯ですが、玄米ごはんや麦ごはん、五穀ごはんといった種類のごはんや米粉パンなども提供しています。</p>
2	<p>無農薬の国産の小麦粉を使用したパン、お米パンなどの提供をお願いします。</p>	
3	<p>今は国としても有機農業を推進されているタイミングです。ぜひ岡崎市でも、有機米、もしくは特別栽培米を作っておられる地元農家さん達の美味しいお米を、年に1回、センターごとに日にちをずらしながらも、岡崎の子供達に食べさせてあげて欲しいです。量が問題ならば、せめて保育園幼稚園の子供たちに、食べさせてあげて欲しいです。</p>	
4	<p>未来ある子供たちが健やかに成長できるよう、世界の流れにも取り残されぬよう、少しずつ岡崎も有機に向かっていただけたら嬉しいです。</p>	
5	<p>オーガニック給食を進めていただきたいです。 地産地消の食材を使った給食を取り入れていただいておりますが、さらに踏み込んで、さらに食材、野菜に対しては無農薬、化学肥料不使用の農家さんとの繋がりを作っていただき、ミネラル豊富な野菜を取り入れたもの。 また、乳製品、卵、肉を取り入れない給食を月に一度実施するなど、環境にも配慮した給食を進めていただきたいです。</p>	<p>本市の学校給食は1日当たり約36,000食の給食を提供しており、全ての給食にオーガニック食材を使用するには、現時点では必要量の確保や価格等で課題が多いと考えています。今後、必要量の確保や価格等の課題が改善されるようであれば、取り入れることを検討していきたいと考えています。 なお、保育園におけるオーガニック食材の使用については担当部署に共有させていただきます。</p>
6	<p>遺伝子組み換え作物や、ゲノム編集された作物は、食べて安心とは言いきれないものですので、給食で取り扱わないでいただきたいです。</p>	<p>一部原材料に遺伝子組換えの不分別の物もありますが、原則として遺伝子組換えの食材は使用しないこととしています。</p>
7	<p>学校給食の牛乳について。 乳牛がどのような飼育環境なのか、どのような飼料を食べているのか知りたいです。食べ物で身体は作られます。 子ども達が毎日飲むものなので、本当の意味での安心安全なのか確認したいです。また医師の診断書など出さずに牛乳提供をやめる事も出来たら良いなと思います。(アレルギーは対応があるので別として、家庭の方針であれば診断書はいらないと思います)</p>	<p>乳牛は田原市・豊橋市・西尾市の一部で飼育されており、牛舎内で飼育されている牛と、敷地内に放牧されている牛とそれぞれです。飼料は、主に配合飼料と干し草です。 学校給食は、文部科学省の「学校給食摂取基準」や地域の実情等を踏まえ、栄養価の基準量を定めています。同省の通知では、「学校給食のない日はカルシウム不足が顕著であり、カルシウム摂取に効果的である牛乳等についての使用に配慮すること。」とあるように、学校給食におけるカルシウムの摂取に牛乳が大きな役割を果たしています。栄養価を満たすためには牛乳を含む完全給食が必要であることから、医師の診断書を提出することなく、牛乳の提供を中止することは考えておりません。</p>

<p>8 給食の牛乳についてです。日本人の大半が乳糖不耐症といわれており、症状は個人差はありますが、腹痛ゲップ下痢便秘等多岐に渡り、軽微だと子どもから積極的に訴えることもなく症状が存在し続けます。不調なり、成長障害の原因にあります。現在そのような認識親御さんにも非常に多く、牛乳を飲ませたくないが学校が出すから仕方ない、という思いの人が一定数います。(みんなが飲んでいる中1人だけ飲まないのは本人も嫌がる、とか)</p> <p>牛乳を発酵するとそのようなトラブルはほぼなくなり牛乳の栄養も効率よく吸収できるようになります。</p> <p>難しい挑戦だと思いますが、今まで出していた牛乳を発酵しヨーグルトとして出すのは児童の健康維持に大変寄与できるし、どこもチャレンジしていないことであり教育都市岡崎としての先鋭的な行動として全国にもアピールでき、教育意識が高い世帯の誘致につながると考えます。</p>	<p>学校給食は、文部科学省の「学校給食摂取基準」や地域の実情等を踏まえ、栄養価の基準量を定めています。同省の通知では、「学校給食のない日はカルシウム不足が顕著であり、カルシウム摂取に効果的である牛乳等についての使用に配慮すること。」とあるように、学校給食におけるカルシウムの摂取に牛乳が大きな役割を果たしていることから、牛乳の提供中止は考えておりません。</p>
<p>9 学校給食に牛乳が毎日付いてきますが、アレルギーなどの問題のある子どもたちが増えている近年に於いては牛乳は不要であると考えます。</p> <p>最近では、日本人は乳糖不耐症が約8割と言われており、牛乳に含まれるカゼインはミネラルの吸収を阻害し、鉄不足を起こしたり、アレルギーの原因、発がん性リスクが上がるのが懸念されております。他にも骨粗鬆症、生殖ホルモンのバランスを崩し、婦人科系の疾患も懸念されております。この様な牛乳を毎日6年間飲むことに子どもへの健康を考えるとあまり好ましいものではないと思います。ぜひ、牛乳中止を考えていただきたいです。</p>	
<p>10 海拔が六ツ美郵便局で、何かの時に調べたら海拔8mであり、津波の心配があり、平時であれば何も心配はありませんが、標高20mぐらいの所につくるべきと考えます。そうすれば、地震の災害時などにも対応でき、災害時の炊き出しといった対応もできると考えます。</p>	<p>本市は愛知県が設定している「津波災害警戒区域」に指定されておらず、整備候補地は津波のリスクが極めて低いと考えています。なお、整備候補地は「浸水想定区域」内にあたることから、周辺住民の近隣退避場所として整備し、災害時に簡易な食事を提供することができるような機能の設置を予定しています。</p>
<p>11 建築予定場所は、(2)整備候補地の留意事項と5災害対応～自然災害等に対応する機能の整備の通りだと思います。</p> <p>この中で、大規模災害発生時に簡易な食事の提供というのは、この避難場所としての対応だけではなく、市内全域を対象としてみえると思いますがいかがでしょうか。また、岡崎市水害対応ガイドブックによりますと、最悪3m～5m地域も含んでいるのではないかと思います。もしそうであれば各器材などの設置場所、材料の保管場所もそれに適した場所への設定が必要かと思えます。</p> <p>過去、市の避難場所と同じハザードマップの状況の施設で非常電源設備の設置場所が架台も無くG.L上に設置されている施設もあります。やはり非常電源設備の設置場所も最悪の状況を考慮して設定して頂きたいと思えます。</p>	<p>御意見のとおり整備候補地の一部は3m～5mの浸水想定区域に指定されているため、修正をさせていただきます。</p> <p>非常電源設備の設置場所についても災害発生時を想定した計画とします。</p> <p>本施設は、浸水等災害に対して周辺住民の近隣退避場所としての機能を整備することを検討しています。そのため簡易な食事についても、周辺住民の方への提供を主として、市内全域への対応は想定しておりません。なお、浸水時に施設の機能維持が最低限図れるよう、上階への非常電源設備の配備なども検討してまいります。</p>

<p>12 以前はアレルギー対応食の配送が困難だというお話がありました。コンテナやトラックには違いがないようですが、どのように想定されているのでしょうか。(学校での受け渡しやチェックは各学校で違いがあるのでしょうか。)</p>	<p>現状では、北部・東部学校給食センターのみ食物アレルギー専用調理室を整備しており、全ての小中学校にアレルギー対応食を提供することが難しい状況です。本計画の南部学校給食センターが整備されることにより、本市すべての学校給食センターよりアレルギー対応食が提供できるよう計画しています。今後アレルギー対応品目を増やすにあたり、各給食センターで格差が生まれないよう配慮する予定です。</p>
---	--